

＜様式＞規制改革に関する提案

| 提案事項名<br>(タイトル)<br>(必須)  | 提案の具体的内容及び提案理由<br>(必須)  | 規制の根拠<br>(おわかりであれば) | 具体的な<br>根拠法令等<br>(おわかりであれば) | 提案主体名<br>(会社名・<br>団体名)<br>(必須) |
|--|---|---------------------|-----------------------------|--------------------------------|
| IoT技術活用によるドライバーの健康状態と運転技能見える化～バイタルデータと運転技能解析による公営バスのドライバー定年廃止～ | <p>バス運転手の人手不足は深刻な課題となっている。<br/>現状では、公営・民営のバス会社とも一般に、定年制のもと、一定年齢以上に達すると、実際には運転能力のある運転手も一律に離職させている。<br/>しかし、現在の技術を用いれば、<br/>1)ドライバーの本人認証を行ってバイタルセンサーならびにODB II データをリアルタイムで取得し、個々のドライバーの健康状態と運転技能を解析、<br/>2)さらに過去の運転履歴や違反歴、既往歴や定期健康診断結果とも組み合わせることで、<br/>一定年齢を超えても、安全運転を継続できるドライバーかどうかを判断することが可能である。これにより、一律定年制を廃止し、高齢者でも継続雇用へつなげることができる。</p> <p>こうした「新たな技術による定年制の廃止」を社会で広げていくうえで、先行的に公営バスでこうした取組を進めることが有効である。しかし、現状では、地方公務員法により「定年による退職」が定められ、これが実現できない。<br/>このため、地方公務員法または地方公営企業法において特例を設け、公営バスの運転手について、上記のような健康状態・運転技能等の確認を前提として、定年制を廃止することを提案する。</p> <p>(参考)実現のためのIoT技術、<br/>1. ドライバーズ本人認証<br/>・生体認証(顔認証、指紋認証、静脈認証など)により間違いなく本人がその時刻に、その場所で運転していることを認証。<br/>2. バイタルセンサーによる健康状態の取得<br/>・脈拍、呼吸、体動により、運転中のストレス、眠気を取得に関わるデータを安全にクラウドにアップロード。<br/>・リモートにてバイタルデータをリアルタイムモニタリング。<br/>脈拍、呼吸、体動により、運転中のストレス、眠気データを取得し、危険を検知した場合、アラート表示を行い、事故を未然に防ぐ。<br/>・いつ/どこで/誰が+バイタルデータ+運転技能データは機密性の高い個人情報であり、通信を暗号化することによりログを安全に保管、解析。</p> | 地方公務員法              | 地方公務員法第28条の2                | サイバートラスト株式会社                   |